

(1) 県全体の農作物の被害状況について

むらづくり課

- 令和5年度の野生鳥獣による農作物被害額は、**5億3,757万円**で前年度より**約5,900万円減少**(前年度比-10%)している。(図1、表1)
- 前年度と比べ、**イノシシ、シカ、サルなどの獣類による被害額が約2,500万円増加**したものの、**カモ類、カラス、ヒヨドリなどの鳥類で約8,400万円減少**している。(図1、表1)
- 鳥獣種別の被害額は、イノシシが全体の約55%、次いでシカが約15%、カモ類が約12%を占めている。(図2)
- 作物別では、野菜の被害額が全体の約32%、果樹が約30%、前年度と比べ、**野菜、果樹の被害額がともに減少**している。(図3)

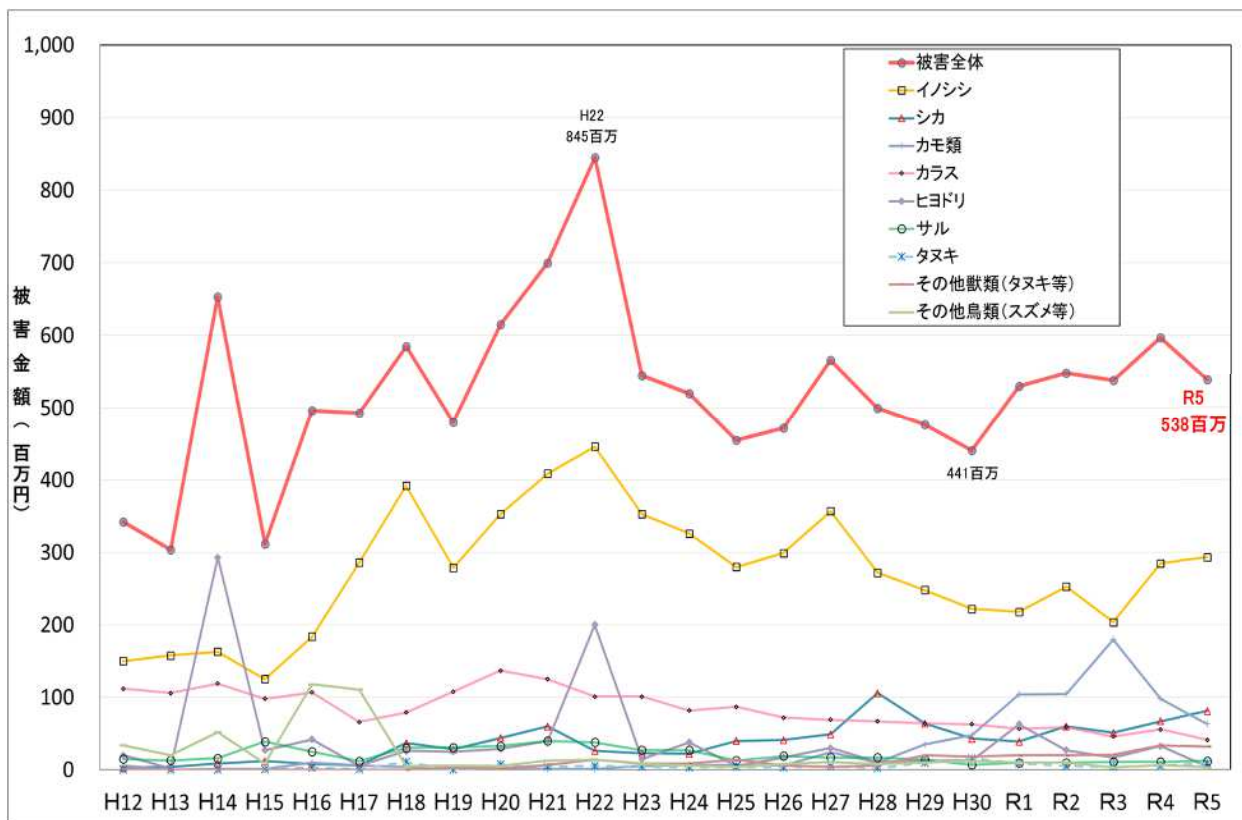


図1 被害額の推移

- 1 -

表1 令和5年度被害額

青文字：減少、赤文字：増加

鳥獣種	被害額	前年度比	前年度からの増減額
全 体	5億3,757万円	90%	約 5千 9百万円減少
イノシシ	2億9,282万円	103%	約 8百万円増加
シカ	8,081万円	120%	約 1千 3百万円増加
カモ類	6,255万円	64%	約 3千 6百万円減少
カラス	4,109万円	73%	約 1千 5百万円減少
サル	1,216万円	114%	約 2百万円増加
ヒヨドリ	430万円	13%	約 2千 9百万円減少
その他獣類(タヌキ等)	4,101万円	105%	約 2百万円増加
その他鳥類(スズメ等)	283万円	90%	約 4百万円減少

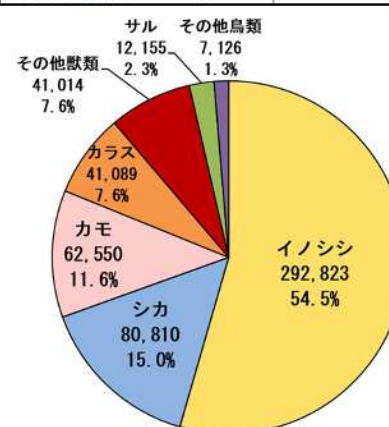


図2 鳥獣種別被害額(千円)

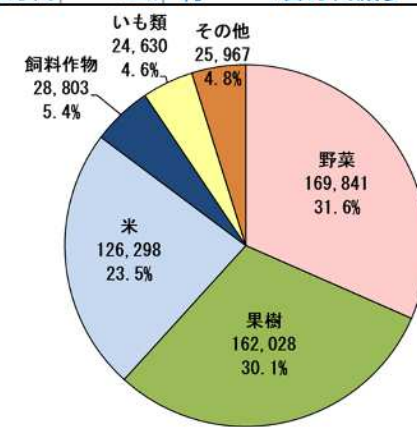


図3 作物別被害額(千円)

(2) 地域別の被害状況について

むらづくり課

- 地域別では、**八代地域の被害額が県全体の約14%を占め、宇城、菊池、芦北、熊本地域が約11%、阿蘇、球磨地域が約10%を占めている。**
- 被害額は前年度と比較して、**熊本・宇城・玉名・鹿本・八代・芦北・天草地域の7地域で減少し、上益城・菊池・阿蘇・球磨地域の4地域で増加した。**
- **八代・玉名地域ではカモ類の被害額が減少、また多くの地域でヒヨドリ、カラスの被害額が減少した。宇城・菊池・阿蘇地域ではイノシシ、シカの被害額がともに増加した。**

